



JAAP セントレア撮影講習会を終えて

元井 英貴

飛行機写真の楽しさ、面白さを参加者の皆さんと一緒に再確認したい、共有したい、そしてもっと深めたい。JAAP が行う撮影講習会の目的はそこにあります。

中部国際空港で9月25、26日に開催した講習会は、滑走路脇での撮影、当日撮った画像の選別と発表、自信作プリントの披露など参加者が能動的に参加する内容をメインに、JAAP 講師作品の発表と説明、画像処理ソフトの講師実演などの講義も加わる密度の濃いスケジュールでした。さらに初日夜の講習後や二日目講習前の早朝にオブザーベーションデッキで撮影する方も多く、参加者にはこの二日間を最大限に楽しんでいたことと思います。

まず全員で共有した「楽しさ」は、なんといっても「撮る楽しみ」でしょう。飛行機写真には動きの早いものを仕留めるという狩猟本能をくすぐるところがあります。超望遠撮影、スローシャッター流し、短焦点流しなどそれぞれがいろいろな方法でターゲットを狙います。飛行機の姿と陰影、そして前景と背景は、ファインダーの中で常に変化し続けます。予期しなかった一瞬の魅力的なシーンにどう反応してフレーミングし、シャッターを切るか。いつも成功

するとは限らないスリリングな「撮る楽しみ」を、参加者も講師も一緒に好天の元で満喫しました。

次は「選ぶ楽しみ」でしょうか。数百枚にも上る当日撮影画像からベストの10枚を選び出すのは大変な作業です。しかも選んだ10枚はみんなの前で発表されます。選ぶ目を養うことこそが重要であり、自分の目が養われてゆくところに楽しさがあるのです。

そして「見せる楽しみ」。何を言われるか不安と怖さでしり込みしたくなりますが、それをこらえて人に見せる。すると思わぬ視点からの意見やすばらしいヒントが与えられます。褒められることもあります。他の人の写真に対する講師のコメントも聞き逃せません。人に見せたことで目からうろこが落ちた参加者も多かったことと思います。

講師として力を入れたのは「写真を仕上げる楽しみ」です。フィルムからデジタルになって、自分の思うように写真を仕上げるのが可能になりました。デジタル技術からのすばらしい贈り物です。これを活かさない手はありません。

写真の仕上げは、すなわち作品創りです。自分はどんな作品を創りたいのか。それを作り上げるには何をどうすればよいのか。写真は記録であり表現でもあります。表現の追求は非常に奥深いことです。自分の世界を写真でどう表現したいのか。「写真を仕上げる楽しみ」は実は「作品を創りあげる楽しみ」に他なりません。これこそ究極の楽しみではないでしょうか。

今回の講習会では、参加者と一緒にこれらすべての楽しみに触れたいと願っていました。さて振り返ってみるとどうでしょうか。ある程度できたと言えるのではないかと思います。

飛行機写真の楽しみ方はまだいろいろあるでしょう。飛行機写真の世界は今よりももっと広く、もっと深いに違いありません。これからも皆さんと一緒にその世界を探る機会を設けていきたいと考えています。

新しい企画に向けて JAAP 内で議論を進めています。今回参加してくださった方も、参加されなかった方も、ぜひ一緒に飛行機写真の世界を楽しんで行きましょう！次の企画でお目にかかることを楽しみにしています！



以下、
講習会参加者の
現場作品





Goto Koichi



Chikuchi Tetsushi



Saito So



セントレア撮影講習会参加者

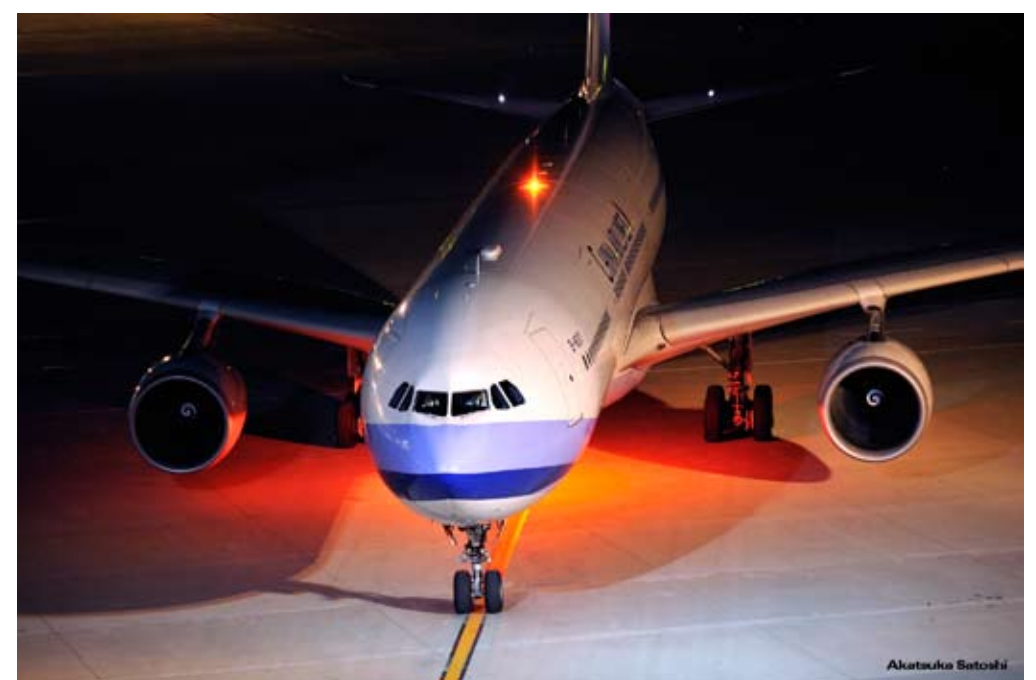
井上 幸久	村田 昭夫
島田 健太郎	後藤 浩一
千達 哲史	杉山 晶彦
森本 和義	齋藤 創
浅海 隆	中川 和幸
佐藤 広	河口 一典
松本 誠司	

日本航空写真家協会参加会員

赤塚 聡	瀬尾 央
伊藤 久巳	元井 英貴
佐藤 真博	



Nakagawa Kazuyuki



Akatsuka Satoshi

以下、
JAAP 会員の
現場作品



セントレア撮影講習会参加者

井上 幸久
島田 健太郎
千達 哲史
森本 和義
浅海 隆
佐藤 広
松本 誠司

村田 昭夫
後藤 浩一
杉山 晶彦
齊藤 剛
中川 和幸
河川 一典

日本航空写真家協会参加会員

赤塚 聡
伊藤 久巳
今原 太郎
柿谷 哲也
久保 安宏
佐藤 真博

瀬尾 央
高本 裕久
西島 泰史
花井 健朗
元井 英貴
和田 安弘

